# SMFが考える「アートとは？」、そして「明後日のSMF」

## アートとは？

アートとは、異化作用である。自動化してしまった日常の知覚を、ずらし、揺り動かすもの。社会生活のなかで制度化する対象への向き合い方に、疑問符が投げかけられる。

アートは、生活と切っても切れないもの。生きていること、生き方そのものがアート。人は常に表現し続けている。それは人がそれまで経験してきた全てのことが混合され熟成し表れたもの。そうした個々の表現が互いに出会い関わり影響を与え合うことで、常に新しい表現が生まれていく。

年齢や立場を超えて人が集い、非日常を体験でき、その人自身の願うより良い生き方に向けて、物事への視点や考えを新しくしていけるもの。

アートとは、額縁に納められた作品のことではなく、まだ見たことも聴いたことも経験したこともないような物事を創り出したり出会ったりしたい、と思う気持ちや心の動きを産み出すモノのことだと思います。

すべての境界を超えた共通言語。
接する人々の心を豊かにしてくれるもの。

創造的に生み出された表現が、世の中の人や時代や仕組みを変化させ、元気にさせる現象のこと。

共時的にも通時的にも、さまざまなジャンル(分野)を横断して各々のの作品を創りあげる、それが芸術表現の本来の在り方。ＳＭＦの役割とは、蛸壺化した現況にあって芸術本来の活力を取り戻すことなのではないでしょうか。

人だけがだれでも潜在的に持っている表現能力から生まれるもの。
ヒトだけが持つ故の傲慢さへの警鐘であり、深い苦悩の闇に指す一条の希望の光。

とても個人的な営みであり、自身にとってかけがえのないものであり、自分が一番わがままにできる空間。

他人には見えなくても、確かにそこに在るもの。

アートとは変幻自在の餡ちゃん。食べる人によって甘い味にも、辛い味にもなる個性豊かな必須アイテムであってほしいです。餡が「餡ちゃん」と呼ばれるように、ＳＭＦがアート大好きな人にとって「餡ちゃん」のような存在になってほしいと思います。

## 明後日のSMF

はじめ風車を回した微風も荒れたり凪いだり、乗じて假具や方丈庵で遊んできた風来坊でしたが、明日の追風に帆かけて、高麗茶碗の利休のように貿易風に乗って花開いた貧藝運動の明後日に参加してみたいものです。

ＳＭＦは、人が出会い新しい表現を生み出し互いがつながることを、藝術を媒介に活性化していく場。様々な生き方をしていた人が出会いつながりをつくりながら、ＳＭＦに関わった人にアートと自分についての関係性について見詰め直すきっかけとなれば、と考えている。

アートツーリズムあるいは出版、イベント企画などで、埼玉のアートをめぐるさまざまな人と場をつなぎ、それぞれを人材や広報面でサポートする、日本一おせっかいな中間支援団体に成長していて欲しい。

ＳＭＦの特質と魅力はジャンル横断性にありますが、さらに図書館と文書館(の機能)が加わるといい。地域における文化を支えるものとして、この二つも欠かせないと思っています。

埼玉のアーティストがネットワークを組んで地元の若手アーティストを育て、地域に根差した芸術活動が繰り広げられる「埼玉」を育てる。

アーティストと市民を繋ぐ→広報活動。
アーティストやアートサポート団体相互のネットワークを広げる→活動の検証と新たな展開の模索。

目指すのは、表現することにおいて、また、表現されたものを享受することにおいて、さまざまな価値観を持った人たちが行き来するプラットフォーム。来る者こばまず、去る者追わない、お出入り自由。だけど、すてきな出会いの可能性を秘めたプラットフォーム。サイタマの場合は、それが天空にあっても良いような気がしてきた今日この頃。

（ＳＭＦで実現したいことなど）Ｗｅｂはアートとどのように関われるのか。アートを発信するツールとして、アート関係者をつなぐツールとして、また、アートのデータベースを構築するツールとして、Ｗｅｂが活用できるといい。差し当たってはＷｅｂ版埼玉アートマップ作成。

ＳＭＦは、見る・聴くというアート鑑賞の枠を超え、実際に「やってみる」ことを通し、そこに集う全ての人々が相互に刺激を与えながら自らの感覚を拡張することができるコミュニケーションの場を作ります。

誰でもアートに出会い、ふれあい、広げあうことができるプラットフォーム。一方的でなく、表現者も鑑賞者もすべての人が行き交う場になるためのベースになりたい。

どのような時代がきても、自分の考えを自分らしく表現する事の大切さを伝えて行く場。ヒトがヒトらしく生きる為に必要不可欠な表現能力を身につける場。

行政に対してはより強固でより明確な組織であり、同時にアーティストや市民に対してはより柔軟でより曖昧な組織。

アートが好きな人が集まる井戸端。小規模なのに、とっても確かで、機知に富んだ発想が生まれるところ。



## ごあいさつ

埼玉県立近代美術館の受付にはカラフルな風車が置かれています。平成20年度に開催され、文化庁のこのモデル事業のはじまりとなった《LINK！ミュージアムからアートの風を!!》の野外インスタレーションに使用した風車です。多くのみなさんの協力により制作された千本をはるかに超える風車が、浦和、川越、入間、川口と県内各地に立ち並び、アートの風をはこんでひと時の夢のような情景を出現させました。この風車は、ミュージアムをキーステーションに、アートの生成する新たな場の創造をめざすとともに、多彩なアートプログラムを通して人々を結び、地域資源の活用につなげていこう、というこの事業のシンボルでもあります。

1970年代後半から80年代の美術館建設ブームを経て、日本各地に数多くの公立美術館が誕生しました。昨秋、開館30周年を迎えた埼玉県立近代美術館もそのひとつです。20世紀後半以降の高度情報社会の進展はめざましいものですが、アートの概念やミュージアムに期待される役割も大きく変化してきました。埼玉県立近代美術館では平成18年度に「 1 美術と出会い、新たな考え方や価値を発見するための体験を提供します。 2 人々が集い、参加し、交流するための基地となります。 3 未来を創る子どもたちの感性と創造力を育みます。 4 地域や県民とともに進化する美術館をめざします。」を四つの柱とするミッションを策定し、21世紀の新たな歩みをはじめています。

入間市博物館アリット、うらわ美術館、川口市立アートギャラリーアトリア、川越市立美術館、埼玉県立近代美術館という、県内の公立美術館5館がゆるやかに連携して実行委員会をつくり、文化庁の支援を得て実施してきたこの事業は、まさにこのミッションの実現に資するものだといえましょう。美術館はたとえてみれば市民社会という海に浮かぶ船のようなものかもしれません。海からの浮力が働かなければ、つまり市民の支持が得られなければ、航海を続けることができないのです。美術館が地域社会との関係を積極的に構築する必要があるのはそのためですが、地域との協働の経験やノウハウを持たない従来の美術館にとっては、言うは易く行うは難しの課題でもありました。

しかしながら各ミュージアムを拠点に、さまざまな人々との協働による地域資源の活用をめざして継続してきたこの事業を通して、ひとつの突破口が見えてきました。この事業の企画・運営を実際に担ってきたのはSMF（Saitama Muse Forum）の方々です。埼玉県立近代美術館のミッションに共鳴し、美術、音楽、舞踊、建築、文学など、さまざまな分野で活動する方々が集い、「身近な場所でアートを享受し、支援し、再創造するプラットフォームをめざします」を旗印に、各ミュージアムのスタッフとともにこの事業を支えてきました。

ミュージアムの活動に共鳴し、ミュージアムをキーステーションとしながらも、ミュージアムに限定されない活動や、さまざまなジャンルを超えた協働がSMF（Saitama Muse Forum）を母胎として生まれてきています。こうした柔らかな協働を新たなアートのプラットフォームとして組織化し展開していくことで、ミュージアムと地域の豊かな関係が築かれていくことでしょう。

この事業の趣旨を理解し貴重な機会を提供してくださった文化庁をはじめ、惜しみないご協力をいただきました各ミュージアム、大学、団体各位、多くのみなさま方に、心から感謝申し上げます。

平成25年3月
「Saitama Art Platform 形成準備事業」
実行委員会　委員長　**建畠　哲**

目次


SMFが考える「アートとは？」、そして「明後日のSMF」 ―― *1*
ごあいさつ ―― *2*
SMFアート楽座
@IRUMA　夜のアリット 光のフェスタ ―アートなお化け屋敷をつくろう ―― *3*
@URAWA　ひとのかたち カラフル人形をつくろう ―― *5*
@URAWA　多世代交流ワークショップ におい 色 パズル ―― *6*
@KAWAGUCHI　まち×匠×アート ―― *7*
@KAWAGOE　川越ミュージアムロード to 織物市場 ―― *9*
@KAWAGOE　アートクラフト手づくり市 in 織物市場 ―― *10*
@KITAURAWA　MOMASの扉スペシャル ―― *11*
@KITAURAWA　コレオグラファーの目 ―― *12*
「みんなで選ぶMOMASコレクションベスト10」を踊る
「自作・音モンタージュ」で踊る
@KITAURAWA　SMFああっと！ファクトリー ―― *13*
共鳴する空間―詩・美術・建築・音楽・ダンス―
@KITAURAWA　きたうらワンと探そう！街のステキ ―― *15*
@KITAURAWA　きたうらワンとアートパレード ―― *16*
SMFアートバンク
@GYODA　行田アート散歩「とりあえず いろいろ見てみよう」 ―― *17*
@KONOSU　鴻巣アート散歩「画家と詩人・水と街道をたどる」 ―― *18*
@KITAURAWA　SMFアート寺子屋 ―― *19*
@KITAURAWA　SMFラウンドテーブル2012 ―― *21*
@KITAURAWA　SMF「さんなすび展」&
アート寺子屋「アートプロジェクトができるまで」 ―― *22*
委員名簿、連携協力機関・団体、主な報道記事